

抄 録

東北海域南部におけるマツカワ放流魚の漁獲場所， 漁獲時期，およびサイズ組成

和田敏裕・神山享一*・島村信也**・吉田哲也*・萱場隆昭***・佐々木正義***

Detection of Fishing Grounds, Fishing Season, and Size Distribution of Stocked Barfin Flounder
Verasper moseri in Southern Tohoku, the Pacific Coast of Eastern Japan

Toshihiro WADA, Kyoichi KAMIYAMA, Shinya SHIMAMURA, Tetsuya YOSHIDA, Takaaki KAYABA and
Masayoshi SASAKI

水産増殖 61 (1), 39-46 (2013)

北海道および岩手県における栽培漁業対象種である希少種マツカワの東北海域南部における漁獲場所，時期，サイズ組成の解明を目指し，2000-2006 年の福島県における漁獲統計および標本船の漁獲データを整理した。また，2006 年に県北部産地魚市場で全長測定を行った。低水準であったマツカワ放流魚の年間漁獲量は 2006 年に 1.1 トンと増加した。主漁場は東北海域南端部付近 (35° 40' -36° 35' N) の水深 300m 前後であった。漁獲の季節性が極めて顕著であり，1-4 月で年間漁獲量の 92% を占めた。漁獲物の全長組成は二峰型を示し，それぞれ雄 (平均全長 43 cm) と雌 (60 cm) が主体と推察された。

* 福島県水産課

** 福島県農業総合センター

*** 地方独立行政法人北海道立総合研究機構水産研究本部